

---

---

# 日本経済展望

2015年10月

 株式会社 日本総合研究所

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

---

---

## 目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 4
◆見通し	p. 8
◆金利動向	p. 9
◆内外市場データ	p. 10

### 調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

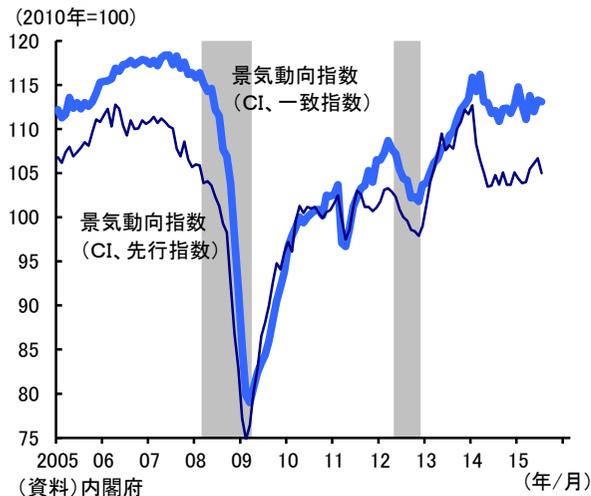
●総括、ファンダメンタルズ全般	下田 裕介	( Tel: 03-6833-0914	Mail: shimoda.yusuke@jri.co.jp )
●家計部門、雇用賃金	小方 尚子	( Tel: 03-6833-0478	Mail: ogata.naoko@jri.co.jp )
●物価、金融	村瀬 拓人	( Tel: 03-6833-6096	Mail: murase.takuto@jri.co.jp )
●企業部門、外需	菊地 秀朗	( Tel: 03-6833-6228	Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp )
●ファンダメンタルズ（現状分析）	嘉田 直記	( Tel: 03-6833-9061	Mail: kada.tp20507@jri.co.jp )
	奥井 貴大	( Tel: 03-6833-3711	Mail: okui.tp20986@jri.co.jp )

◆本資料は2015年10月2日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

# 概況：輸出や生産は弱含み、個人消費は緩慢な回復

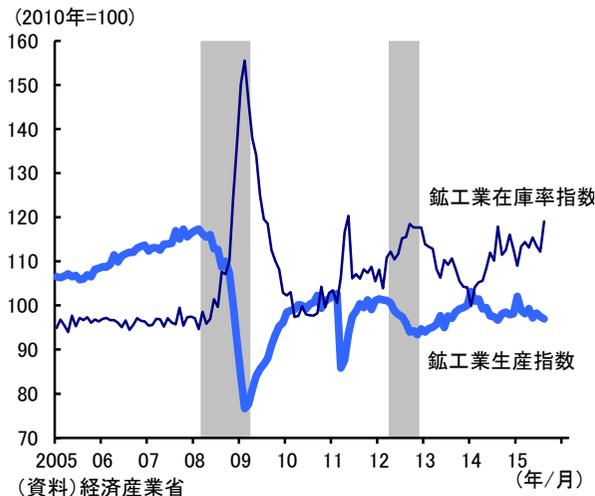
## 景気

住宅着工床面積の前月からの反動減などにより、先行指数は5か月ぶりに低下



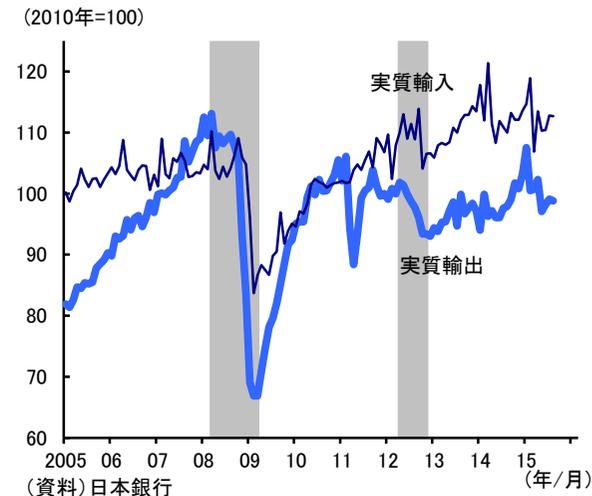
## 企業

幅広い業種で在庫率が一段と高まるなか、生産は引き続き弱い動き



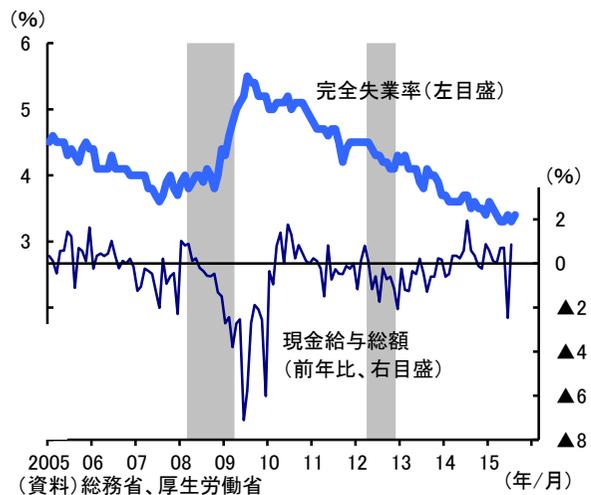
## 外需

輸出は年初以降力強さを欠く状況  
輸入は一進一退



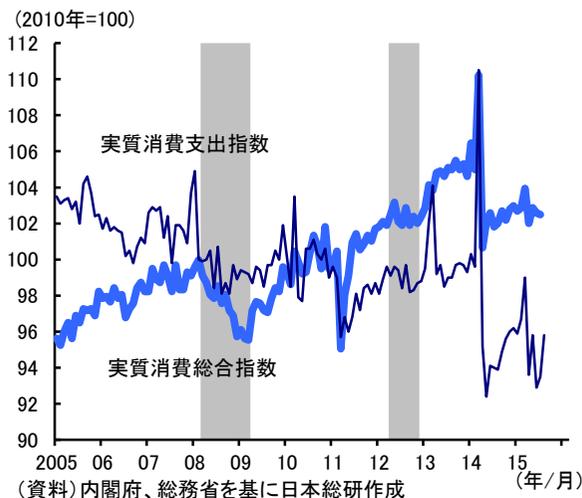
## 雇用所得

完全失業率は低水準で推移  
名目賃金は再び前年比プラスに



## 消費

実質消費支出は、住居関連をはじめとする高額品などで持ち直し



## 住宅

住宅着工は緩やかな回復基調  
マンション販売は一進一退



※シャドー部は景気後退期

# 中国経済の減速などを背景に景気は足踏み

現状

景気分析

見通し

金利動向

## ◆中国経済の減速が景況感を下押し

わが国景気は足踏みの状況。8月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは、中国経済の先行き懸念による世界同時株安の進行などを背景に、7ヵ月ぶりに良し悪しの分かれ目となる50を下回る水準に。

## ◆輸出、生産も弱含み

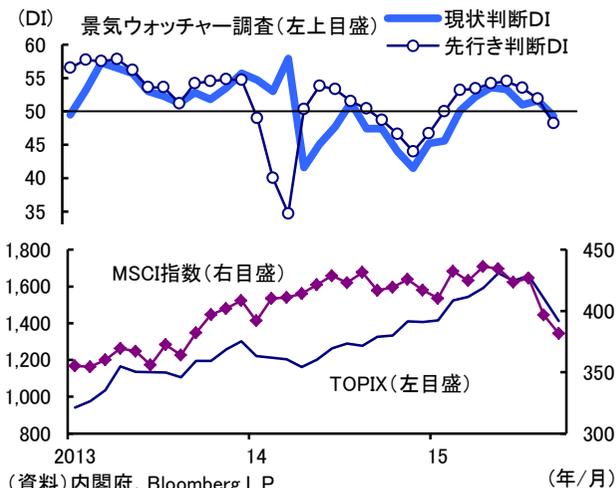
中国の景気減速に伴う影響は实体经济面でも看取。外需では、新興国における自動車需要やインフラ投資、世界的なスマートフォン需要の減速などにより、輸出が依然力強さを欠く状況。

こうした状況を受けて、企業部門では、はん用・生産用・業務用機械工業など幅広い業種で在庫率が一段と高まり、鉱工業生産は引き続き弱い動き。また、設備投資の先行指標である機械受注（船舶・電力を除く民需）も足許で減少しており、7～9月期の見通しを大幅に下回る状況。

## ◆個人消費の回復は緩慢

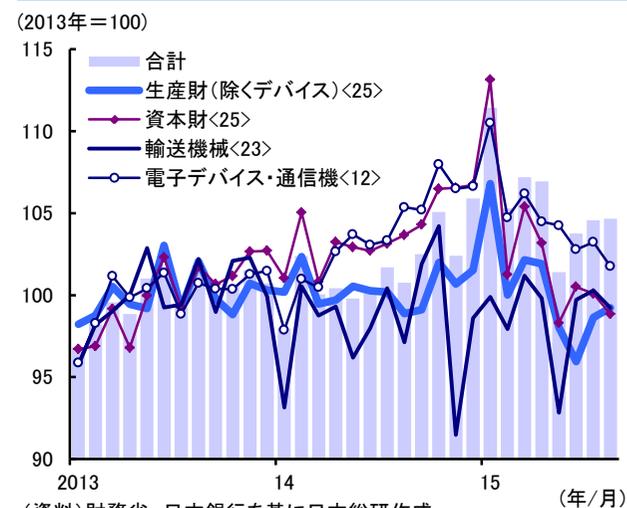
家計部門では、労働需給のひっ迫した状況が持続するなか、7月の実質賃金は2013年4月以来27ヵ月ぶりの前年比上昇。もっとも、増税の影響が残る軽自動車を中心に新車販売台数が底ばいで推移するなど、個人消費の回復ペースは緩慢。

### 株価と景気ウォッチャー調査



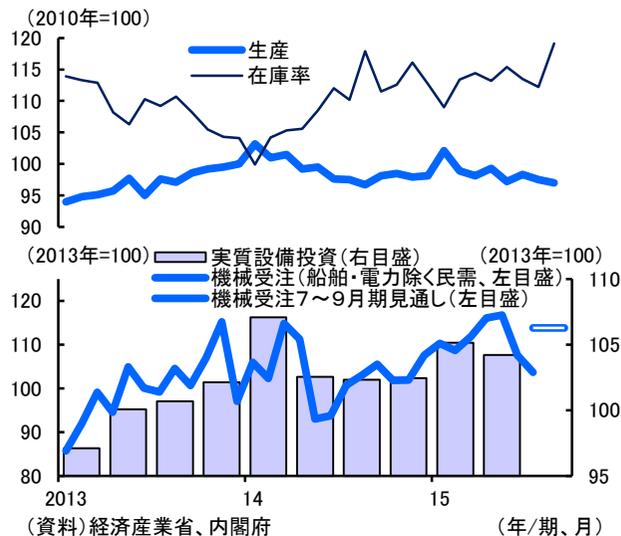
(資料)内閣府、Bloomberg L.P.  
(注1) MSCI指数は、先進国、新興国を含めた世界的な株価指数。  
(注2) 株価指数は、月末終値を採用。

### 財別実質輸出(季調値)



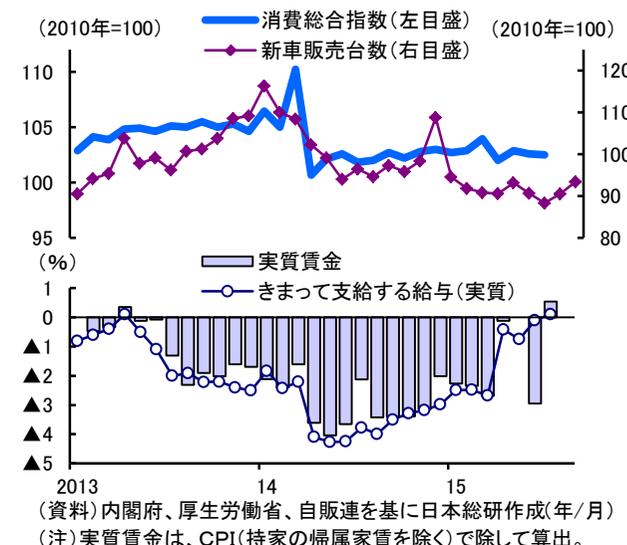
(資料)財務省、日本銀行を基に日本総研作成  
(注) <>内の数字は、2014年名目輸出に占めるウェイト。

### 鉱工業指数と機械受注(季調値)



(資料)経済産業省、内閣府

### 消費関連指標(季調値)と実質賃金(前年比)



(資料)内閣府、厚生労働省、自販連を基に日本総研作成(年/月)  
(注) 実質賃金は、CPI(持家の帰属家賃を除く)で除して算出。

# 日銀短観：中国減速から景況感悪化、設備投資は増勢維持

現状

景気分析

見通し

金利動向

## ◆中国経済の減速懸念から大企業・製造業の景況感は悪化

9月の業況判断DIは、大企業・製造業で+12%ポイントと、前回（6月）調査対比▲3%ポイントの悪化。中国経済の減速懸念とそれを契機とした株式市場の不安定化などが背景。業種別にみると、在庫調整の遅れから一般機械、電気機械などの悪化が顕著。

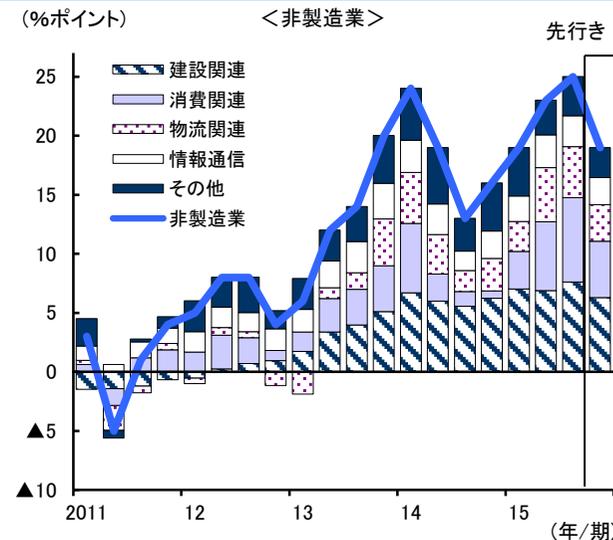
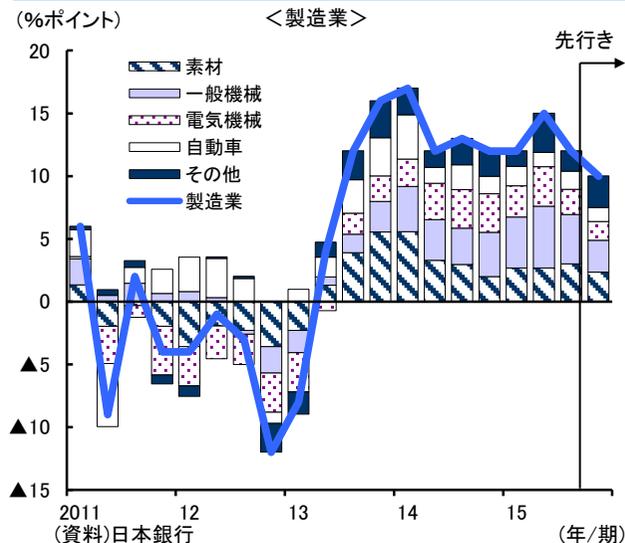
一方、大企業・非製造業は、+25%ポイントと、同+2%ポイントの改善。引き続き、小売や対個人サービスなど消費関連が大きく伸び、底堅いインバウンド需要がプラスに寄与した模様。もっとも、先行きはインバウンド需要を牽引する中国経済の減速懸念を受け、大幅な悪化が見込まれるなど、不透明感は残存。

大企業・製造業の海外需給判断DIは悪化基調。先行きは改善が見込まれているものの、先行きに対して実績が下振れる傾向を踏まえると、海外需給は悪化が続く可能性。

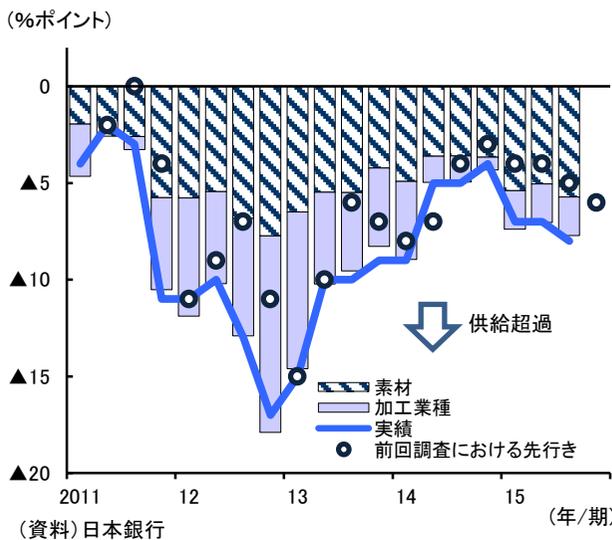
## ◆15年度の設備投資計画は堅調を維持

一方、2015年度の設備投資計画は、大企業・製造業で前回調査対比横ばい、非製造業で上方修正されており、底堅さを維持。中小企業も例年の足取り通り上方修正。機械受注の減少から、設備投資は当面力強さを欠くとみられるものの、高水準の計画が維持されるもと、腰折れといった事態は回避される見込み。

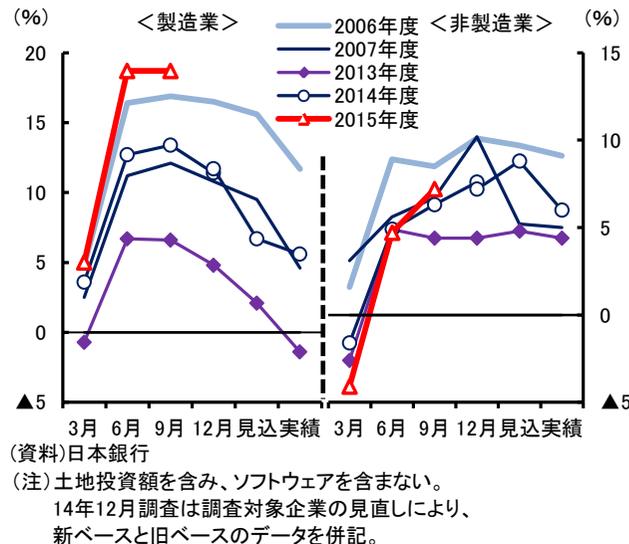
### 大企業の業況判断DI



### 海外での製商品需給判断DI(大企業・製造業)



### 設備投資額の足取り(大企業、前年度比)



# 輸出は中国経済減速などから弱含み

## ◆輸入減に底打ちの兆し

外需動向をみると、このところの貿易赤字縮小に寄与してきた輸入の減少に歯止め。国内の燃料在庫の調整が一巡したことから、輸入全体の3割を占める燃料の実質輸入が持ち直し。原油価格が落ち着きを取り戻すなか、先行き、内需の回復が明確化してくれば、それに伴い輸入は持ち直す見込み。

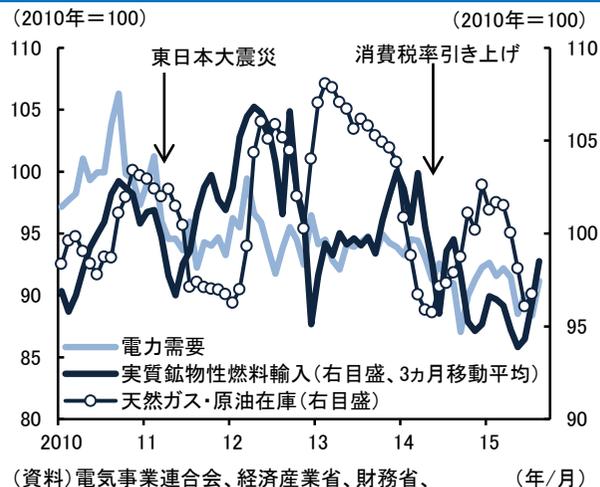
## ◆輸出は、中国経済の減速などを背景に、力強さを欠く状況が持続

実質輸出は弱含み。背景には、①わが国企業の輸出競争力の低下や、量から収益への経営姿勢の変化による、世界貿易に占めるわが国輸出のシェアの低下、②世界貿易の伸び自体の減速、が指摘可能。

とりわけ、足許では中国経済の減速が世界貿易の停滞を通じてわが国の輸出を一段と下押し。中国を最終消費地とするわが国の付加価値輸出はGDP比2%程度ながら、東アジアでは5%超となっており、中国の最終需要減の直接的影響は甚大。東アジア経済への下押しに伴う影響には注意を要する状況。

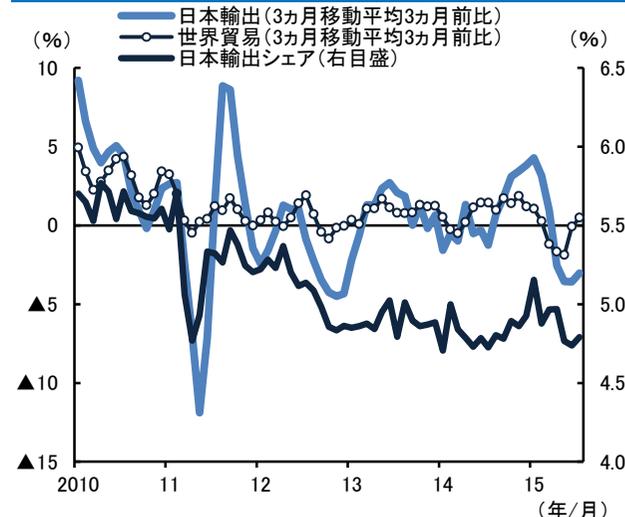
先行きを展望すると、円安が一定程度輸出を下支えする一方、中国をはじめ新興国の景気減速が重石となり、輸出の力強い回復は当面期待薄。

## 電力需要、実質燃料輸入、燃料在庫(季調値)



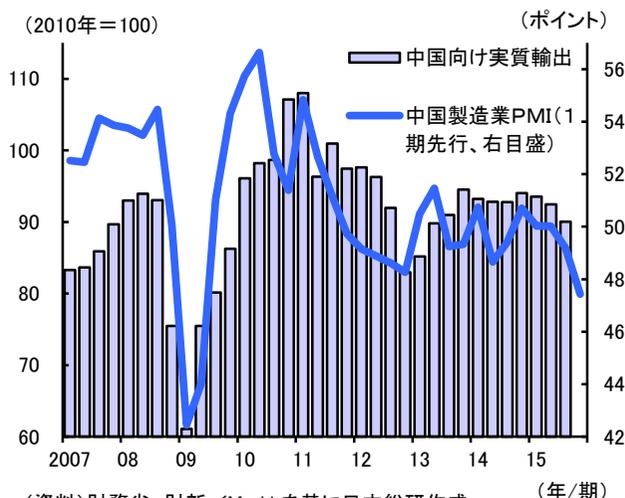
(資料)電気事業連合会、経済産業省、財務省、日本銀行を基に日本総研作成  
(注)天然ガス・原油在庫は、石油換算トンで合算。

## 世界貿易数量と日本実質輸出(季調値)



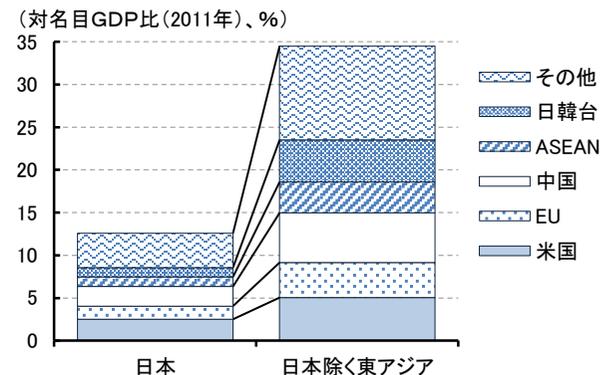
(資料)オランダ経済政策分析局(CPB)“World Trade Monitor”

## 中国製造業PMIと中国向け実質輸出(季調値)



(資料)財務省、財新/Markitを基に日本総研作成  
(注)輸出の直近は7~8月平均。

## 日本・東アジアの最終消費地別付加価値輸出



(資料)OECD-WTO “Trade in Value Added”  
(注)ASEANはブルネイ、インドネシア、カンボジア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム。  
東アジアは日本、韓国、台湾、ASEAN。  
中国は香港含む。

# 良好な企業収益を受け設備投資は持ち直しも、速度は緩慢

現状

景気分析

見通し

金利動向

## ◆企業収益は好調に推移

企業部門についてみると、2015年4～6月期の法人企業統計では、売上高が伸び悩んだ一方、経常利益は過去最高を記録。

利益率改善の背景には、①円安による海外での収益高上げ（その他営業外損益要因）、②原油安によるコスト低減（変動費要因）、などが指摘可能。とりわけ、足許では、原油安効果が大きかった模様。

## ◆利益に比べ伸びが鈍い設備投資

設備投資についてみると、法人企業統計ベース（金融業・保険業除く、ソフトウェア除く）では4四半期ぶりに減少。輸出の伸び悩みや、国内の在庫調整の長期化などを受け、設備投資が一部先送りされている可能性。労働分配率、設備投資／キャッシュフロー比率をみても、ともに低下傾向が続いており、企業経営の慎重姿勢の持続が確認可能。

加えて、足許では中国経済の減速懸念の高まりを受けて株式市場などで不確実性が高まっており、これが先行き設備投資を下押しするリスク。

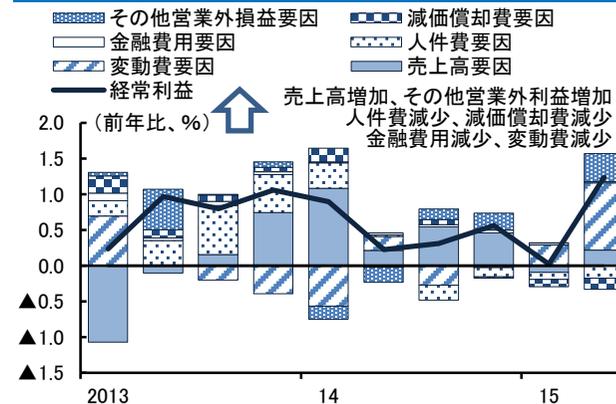
以上を踏まえると、設備投資は、良好な企業収益や、合理化・省力化、研究開発に対するニーズの高まり等を背景に、先行き持ち直しが見込まれるものの、企業の慎重姿勢や先行き不透明感からペースは緩慢にとどまる見通し。

## 法人企業の売上高と経常利益率(季調値)



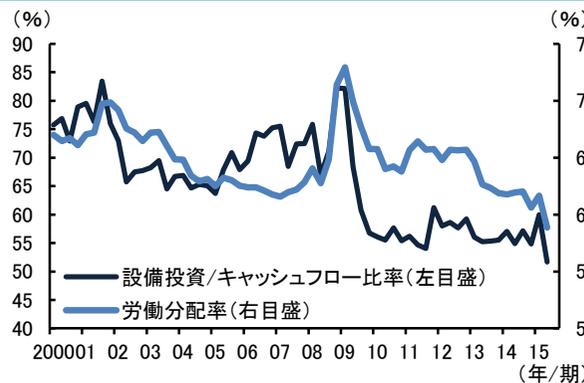
(注)金融業・保険業除く、全規模・全産業。

## 経常利益の要因分解(全規模・全産業)



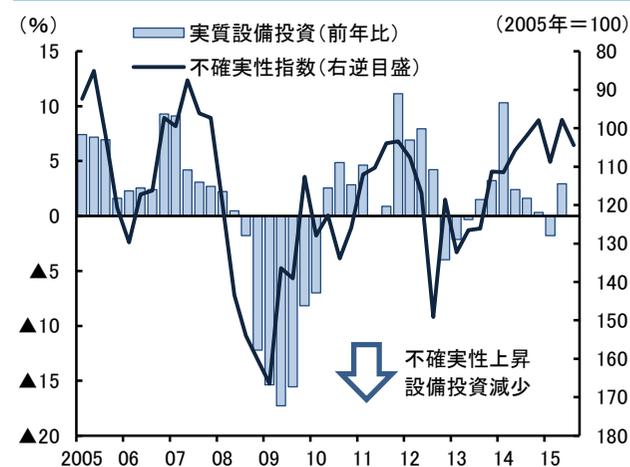
(注1)金融業・保険業除く。  
(注2)経常利益=売上高-人件費-減価償却費-金融費用-変動費+その他営業外損益。  
全ての要因を前年の売上高で除して標準化。

## 労働分配率と設備投資キャッシュフロー比率



(注1)金融業・保険業除く、全規模・全産業。  
季節調整値は日本総研作成。  
(注2)労働分配率=人件費/付加価値額、  
付加価値額=経常利益+人件費+減価償却費+支払利息等。  
(注3)キャッシュフロー=経常利益/2+減価償却費。

## 実質設備投資と不確実性指数



(注)不確実性指数はTOPIXの予測誤差の絶対値から作成。  
不確実性指数の直近値は15年7～8月平均。

# 賃金増や原油安が消費にプラス

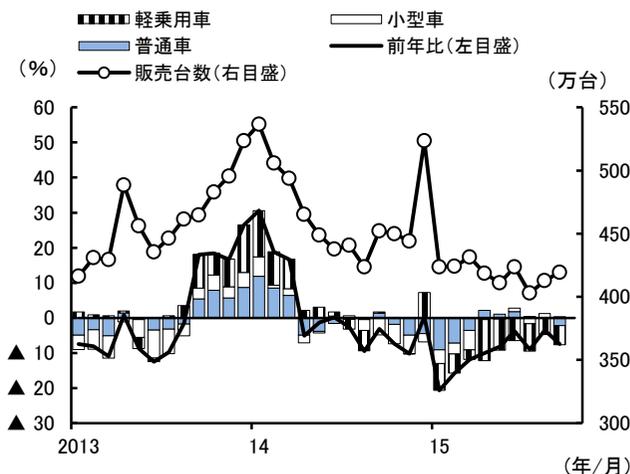
## ◆消費増税後の反動減は一巡も、インフレ予想が根強いなか消費回復は緩慢

家計部門では、消費増税後の反動減の影響は一巡したものの、天候不順による外食などサービス関連の低迷、軽自動車税増税の影響等により、4月以降も消費の回復は緩慢。秋口に入り、乗用車販売には、底打ちの兆しがみられるものの、前年比でみた物価上昇率が、消費増税影響の剥落と石油関連製品の値下がりにより、足許で小幅マイナスとなるなかでも、インフレへの強い警戒感が消費回復の遅れの一因に。加えて、8月下旬以降の株価下落もマインド下押しを通じて消費の重石に。

## ◆所得雇用環境の改善が消費の回復を後押し

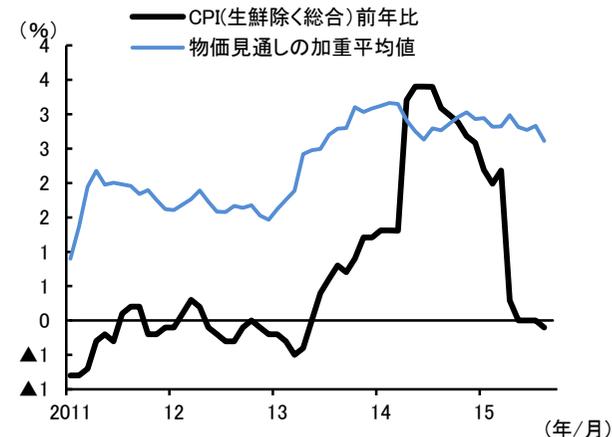
もっとも、消費の元手となる所得は増加傾向が持続。企業が円安コストの転嫁を実現するなか、経常利益は改善を維持しており、人件費は、売上高人件費比率が横ばいになるなど、売上高の増加に見合うペースで拡大。人手不足感が根強いなか、雇用の改善も続く見込み。一方、年金支給額の減少が続いていた高齢者についても、2015年度の国民年金給付額は前年度比+0.9%とプラス転化。当面は、原油安を受けた物価の騰勢鈍化により、実質ベースでもプラスが続く見込み。所得雇用環境の改善は、消費の緩やかな回復を後押しする見込み。

### 乗用車販売台数(季調値)



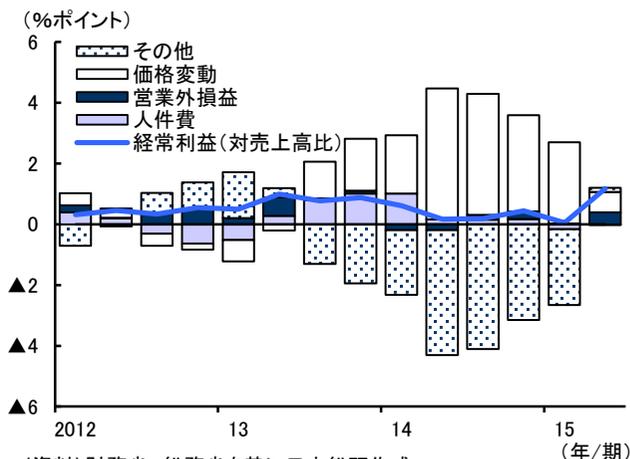
(資料)日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会を基に日本総研作成

### 消費者物価と物価見通しの推移



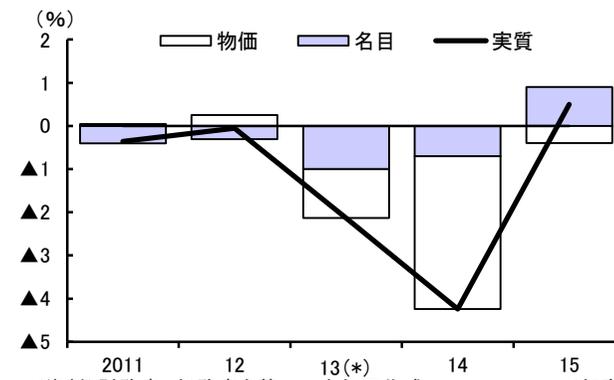
(資料)内閣府、総務省  
(注)物価見通しは、一般世帯回答からの試算。

### 経常利益変動(対売上高比)の要因分解



(資料)財務省、総務省を基に日本総研作成  
(注)経常利益(対売上高比)の前年同期差。価格変動は、消費者物価(持家の帰属家賃除く、消費増税の影響を除く)をもとに算出。

### 年金世帯の実質購買力



(資料)財務省、総務省を基に日本総研作成  
(注1)名目は老齢基礎年金の変化率。2013年度(\*)の引き下げは10月。  
(注2)物価は、消費者物価(持家の帰属家賃を除く総合)。2015年度は日本総研の予測。

# 消費者物価は再び騰勢を回復する見込み

## ◆物価は足許で大幅に騰勢鈍化

最近のCPIの前年比でみた騰勢鈍化は、原油・液化天然ガスの輸入価格下落を受けたエネルギー価格の下振れが主因。足許では、3～5カ月前の輸入価格を料金の算定に用いる電気・ガス代が、ラグを伴う形で下落しており、当面、物価は伸び悩みが続く見込み。

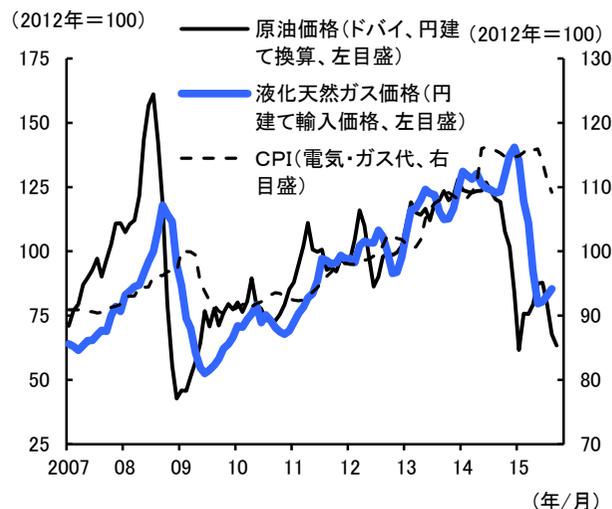
## ◆今後は再び騰勢回復へ

一方、エネルギー価格を除けば、物価は総じてプラス基調を維持。CPI（食料・エネルギー除く総合）と相関が高い雇用の時間当たり賃金も上昇傾向が続いており、CPIが再び持続的なマイナスに陥る可能性は小さいと判断。雇用や賃金の改善傾向が続くなか、先行きも内需の緩やかな持ち直しが物価押し上げに作用するとみられることから、原油安の影響が一巡するにつれて、消費者物価は再び騰勢が強まる公算。

## ◆日銀の物価目標達成には時間

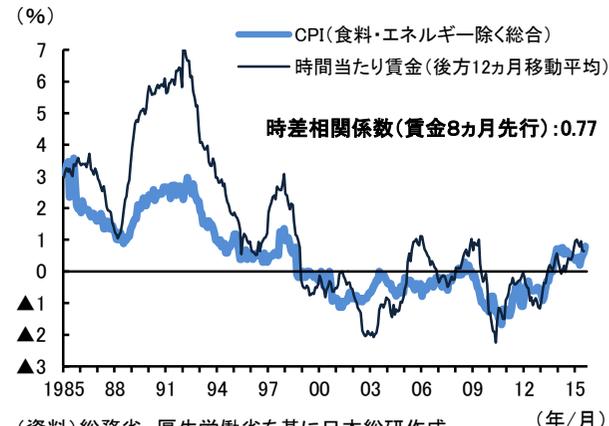
もっとも、「2%での持続的な物価の安定」という日銀の目標達成には、需給環境の改善に伴う物価の押し上げだけでなく、インフレ期待の上昇を通じ、需給バランスと物価の関係を表すフィリップス・カーブが上方へシフトしていくことが不可欠。家計・企業のインフレ期待の上昇やフィリップス・カーブの上昇は、依然として限定的であり、2%の物価目標の達成には時間を要する公算。

### 原油・天然ガス価格と電気・ガス代



(資料)日本銀行、日本経済新聞社、総務省を基に日本総研作成

### CPIと時間当たり賃金(前年比)



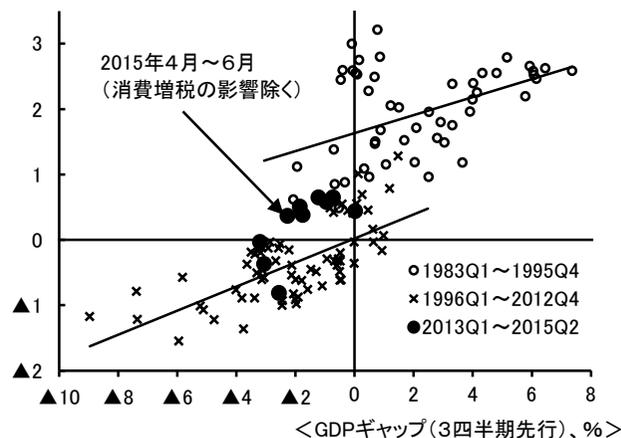
(資料)総務省、厚生労働省を基に日本総研作成

(注1)時間当たり賃金=現金給与総額指数/総実労働時間指数。

(注2)時差相関係数は、CPI(食料・エネルギー除く総合)と時間当たり賃金の単純前年比を基に算出。0～12ヵ月のなかで、最も相関が高いラグ次数を選択。

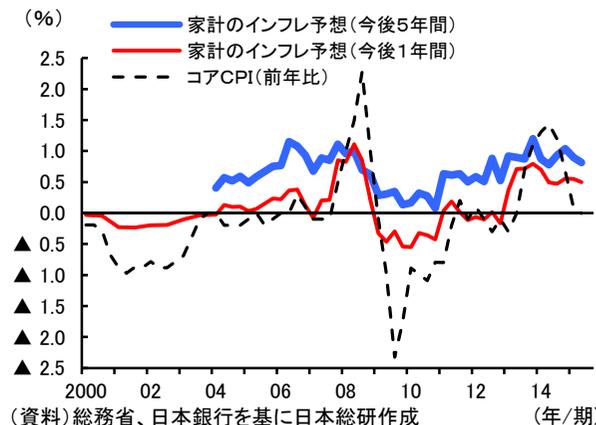
### フィリップス・カーブ

<CPI(食料・エネルギー除く総合)、前年比、%>



(資料)総務省、内閣府などを基に日本総研作成

### CPIと家計のインフレ予想



(資料)総務省、日本銀行を基に日本総研作成

(注1)家計のインフレ予想は、「生活意識に関するアンケート調査」を用い、修正カールソン・パーキン法により推計。同調査は、2013年6月より消費税率引き上げの影響を除くベースで調査。

(注2)コアCPIは、消費税率引き上げの影響を除くベース。

# 当面力強さを欠くも自律拡大により景気は緩やかに回復へ

## ◆海外景気減速、在庫調整などが重石の一方、自律拡大メカニズムは維持

当面は、①中国の景気減速による輸出下押し、②株価下落によるマインド悪化を通じた消費・設備投資の下押し、③在庫調整に伴う下振れ圧力が、重石に。もっとも、①良好な投資環境が維持されていること、②堅調な企業収益や人手不足を背景に所得雇用環境の改善傾向が続いていること、などから、景気の自律拡大メカニズムに大きな変化はみられず。

こうしたもとで、2016年入り後は、在庫調整の一巡とともに景気は底堅さを取り戻していく見通し。さらに、2016年度末にかけては、2017年4月の消費増税を控えた駆け込み需要が景気を押し上げる見込み。もっとも、①中国をはじめとする海外経済の成長鈍化により輸出は力強い拡大が期待薄、②既往円安などを背景とする物価上昇の再加速による実質所得の伸び悩みが消費の重石に、③公共投資も頭打ち感が強まることなどから、景気回復は総じて緩やかなペースとなる見通し。

## ◆物価は内需持ち直しや円安による押し上げが徐々に顕在化

消費者物価は、足許原油価格の低水準での推移により当面伸び悩みが続く見込み。もっとも、原油安の影響が一巡する2015年度後半以降、内需持ち直し等が押し上げに作用し、再び物価の騰勢が上向く見通し。

## わが国主要経済指標の予測値(2015年10月2日時点【暫定版】)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2015年				2016年				2017年	2014年度	2015年度	2016年度
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3			
	(実績)				(予測)							
実質GDP	4.5	▲1.2	0.6	0.5	1.5	0.3	1.5	1.5	2.6	▲0.9	0.9	1.1
個人消費	1.5	▲2.7	1.5	0.8	2.1	▲0.3	0.8	1.4	5.9	▲3.1	0.3	1.2
住宅投資	7.0	8.0	3.0	3.0	3.0	2.8	2.8	4.2	5.5	▲11.7	2.5	3.2
設備投資	11.0	▲3.6	0.0	1.4	1.9	2.8	3.3	3.5	3.9	0.5	1.2	2.6
在庫投資 (寄与度)	( 2.2)	( 1.1)	(▲1.0)	(▲0.4)	( 0.0)	( 0.0)	( 0.5)	( 0.2)	(▲0.8)	( 0.5)	( 0.1)	(▲0.0)
政府消費	1.1	2.0	0.2	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.4	1.0	0.4
公共投資	▲5.3	8.9	▲4.6	▲0.9	▲0.4	0.0	▲1.0	▲1.2	▲1.5	2.0	0.4	▲0.9
純輸出 (寄与度)	(▲0.3)	(▲1.1)	( 0.4)	(▲0.2)	(▲0.4)	(▲0.2)	(▲0.2)	(▲0.2)	(▲0.9)	( 0.6)	(▲0.3)	(▲0.5)
輸出	6.7	▲16.6	7.8	2.5	2.5	3.4	3.8	3.7	3.5	7.9	0.3	3.5
輸入	7.3	▲10.1	7.0	3.6	4.5	4.8	5.8	5.9	8.7	3.6	1.3	5.3

(前年比、%)

名目GDP	2.6	2.3	3.2	2.5	0.8	1.0	1.4	1.5	2.3	1.6	2.2	1.6
GDPデフレーター	3.5	1.5	1.9	1.6	0.3	0.2	0.4	0.4	0.8	2.5	1.3	0.5
消費者物価 (除く生鮮)	2.1	0.1	▲0.1	0.2	0.7	1.0	1.2	1.3	1.4	2.8	0.2	1.2
(除く生鮮、消費税)	0.1	0.0	▲0.1	0.2	0.7	1.0	1.2	1.3	1.4	0.8	0.2	1.2
鉱工業生産	▲2.1	▲0.4	▲0.0	1.0	0.2	1.9	3.4	1.6	1.3	▲0.5	0.2	2.1

完全失業率 (%)	3.5	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.5	3.3	3.2
経常収支 (兆円)	4.42	3.77	4.05	2.16	4.61	1.99	3.45	1.56	4.19	7.93	14.59	11.19
対名目GDP比 (%)	3.6	3.0	3.3	1.6	3.7	1.6	2.8	1.2	3.3	1.6	2.9	2.2
円ドル相場 (円/ドル)	119	121	122	121	122	122	122	122	122	110	122	122
原油輸入価格 (ドル/バレル)	56	60	58	56	63	64	66	68	70	91	59	67

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを基に日本総研作成

(注1)足許の中国をはじめとする海外景気の減速や、株価下落などを受けて、直近の改訂見通し(2015年9月8日)、および日本経済展望9月号から予測値を修正。

(注2)2017年4月に消費税率引き上げ(8%→10%)が実施されると想定。

### 海外経済の前提

(前年比、%)

	2014年	2015年	2016年
	(実績)	(予測)	
米国	2.4	2.6	2.8
ユーロ圏	0.9	1.5	1.6
中国	7.3	6.9	6.8

### 過去の実質GDP予測

(前年比、%)

	2014年度	2015年度	2016年度
	(実績)	(予測)	
7月号	▲0.9	1.5	1.3
8月号	▲0.9	1.5	1.3
9月号	▲0.9	1.2	1.3

# 長期金利は横ばい圏での低位推移が続く見込み

## ◆日銀は現状の金融政策を維持

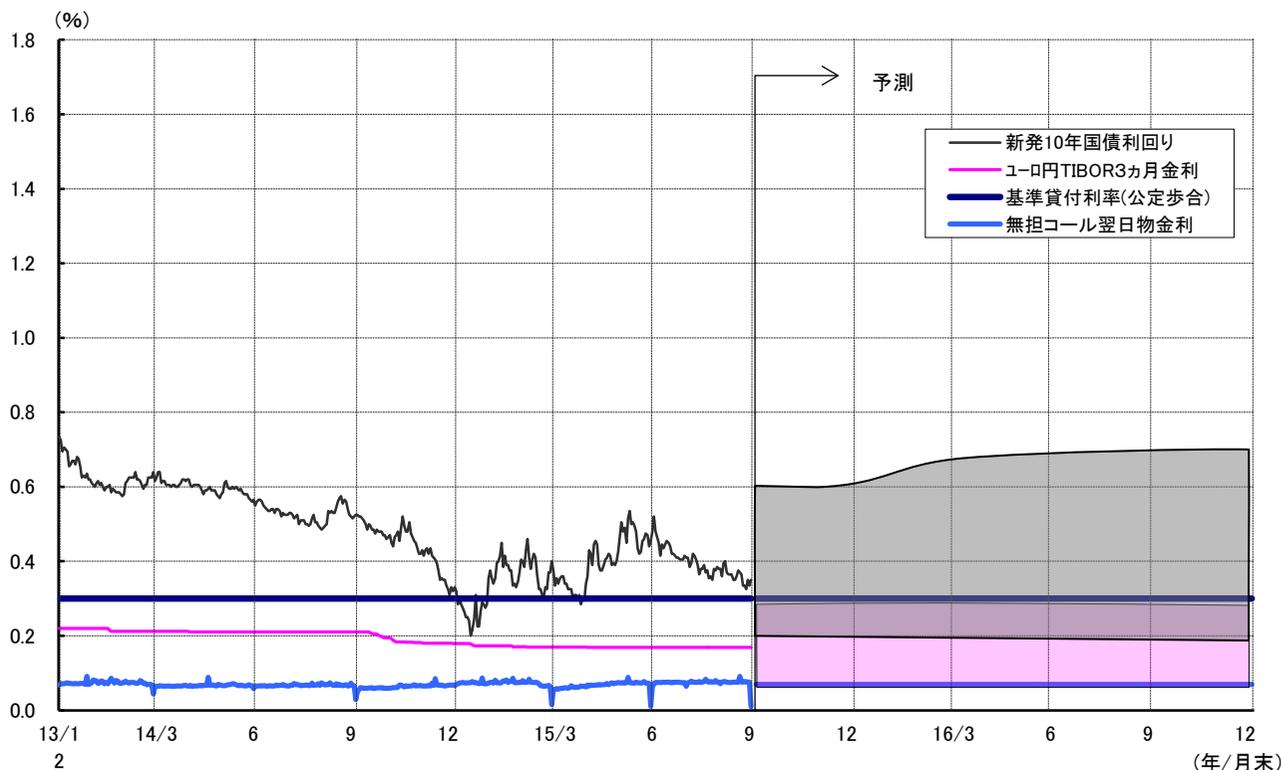
日銀は、9月14、15日の定例会合で、マネタリーベースが年間約80兆円のペースで増加するよう金融市場調節を行う、という現状の金融政策の維持を決定。日銀は、原油価格の下落が物価を下押しするなかでも、インフレ期待や物価の基調的な動きは安定していると判断。原油安の影響が剥落するに従い消費者物価の伸びは前年比+2%に向けて高まるとの見方を維持しており、当面は、現状ペースでの資産買い入れを続ける見込み。

## ◆長期金利は日銀の国債買い入れなどにより低位での推移が続く見込み

長期金利は、日銀の国債買い入れにより良好な需給環境が続くなか、足許では、中国を中心とした世界経済の減速懸念を受けた投資家のリスク回避姿勢の強まりなども金利下押しに作用し、0.3%台まで低下。

長期金利の先行きを展望すると、当面、横ばい圏での低位推移が続く見込み。内外景気に不透明感が残るほか、日銀による中長期債の買い入れも需給面から金利低下に作用。もっとも、内外景気の先行き不透明感が払拭されていけば、米国金利の上昇や消費者物価の上昇期待などを背景に、金利上昇圧力が徐々に強まる可能性も。

## わが国主要金利の見通し



	(%)									
	2014年 10~12	2015年			2016年					
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	
無担コール/N誘導目標	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
基準貸付利率(公定歩合)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
ユーロ円TIBOR3カ月物金利	0.19	0.17	0.17	0.17	0.17	0.18	0.20	0.20	0.20	
円スワップ5年物金利	0.24	0.24	0.27	0.24	0.30	0.32	0.32	0.33	0.33	
新発10年国債利回り	0.44	0.34	0.40	0.39	0.40	0.43	0.44	0.45	0.45	

(注) 無担コール・基準貸付利率は末値。  
その他は期中平均値。

→ 予測

# 内外市場データ (月中平均)

	短期金利 無担O/N (%)	ユーロ円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
		3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	F F 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	N Y ダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
12/2	0.10	0.33	0.44	0.35	0.46	0.98	0.12	0.97	1.48	1.40	78.60	104.06	9242.33	799.32	0.10	0.50	1.96	12889.05	1.05	1.90
12/3	0.09	0.33	0.44	0.35	0.49	1.04	0.12	1.01	1.48	1.36	82.55	109.07	9962.35	850.37	0.13	0.47	2.16	13079.47	0.86	1.88
12/4	0.09	0.33	0.44	0.35	0.45	0.98	0.11	0.95	1.48	1.35	81.27	106.99	9627.42	817.43	0.14	0.47	2.03	13030.75	0.74	1.73
12/5	0.10	0.33	0.44	0.35	0.43	0.89	0.11	0.86	1.48	1.31	79.68	101.90	8842.54	745.33	0.16	0.47	1.78	12721.08	0.69	1.46
12/6	0.09	0.33	0.44	0.34	0.40	0.84	0.10	0.84	1.48	1.30	79.35	99.57	8638.08	733.19	0.16	0.47	1.61	12544.90	0.66	1.43
12/7	0.10	0.33	0.43	0.30	0.36	0.77	0.10	0.78	1.48	1.26	78.98	97.09	8760.68	746.00	0.16	0.45	1.50	12814.10	0.50	1.31
12/8	0.10	0.33	0.43	0.30	0.37	0.81	0.10	0.80	1.48	1.25	78.68	97.59	8949.88	748.73	0.13	0.43	1.67	13134.90	0.33	1.42
12/9	0.09	0.33	0.43	0.29	0.36	0.80	0.10	0.80	1.48	1.25	78.16	100.62	8948.59	742.65	0.14	0.39	1.70	13418.50	0.25	1.55
12/10	0.10	0.33	0.43	0.26	0.33	0.78	0.10	0.77	1.48	1.25	79.01	102.47	8827.39	736.24	0.16	0.33	1.72	13380.65	0.21	1.52
12/11	0.10	0.32	0.42	0.26	0.31	0.75	0.10	0.74	1.48	1.21	81.05	104.07	9059.86	753.21	0.16	0.31	1.65	12896.44	0.19	1.39
12/12	0.10	0.32	0.41	0.22	0.28	0.77	0.10	0.74	1.48	1.20	83.91	110.16	9814.38	811.87	0.16	0.31	1.71	13144.18	0.19	1.36
13/1	0.10	0.30	0.40	0.21	0.30	0.80	0.09	0.78	1.48	1.20	89.10	118.53	10750.85	901.20	0.14	0.30	1.88	13615.32	0.21	1.56
13/2	0.10	0.28	0.38	0.21	0.29	0.79	0.04	0.75	1.48	1.16	93.13	124.24	11336.44	961.02	0.15	0.29	1.97	13967.33	0.22	1.60
13/3	0.09	0.25	0.35	0.22	0.28	0.72	0.05	0.61	1.48	1.15	94.87	122.92	12244.03	1028.55	0.14	0.28	1.94	14418.26	0.21	1.41
13/4	0.09	0.24	0.33	0.25	0.37	0.73	0.11	0.57	1.48	1.18	97.75	127.35	13224.06	1110.41	0.15	0.28	1.73	14675.91	0.21	1.25
13/5	0.09	0.23	0.33	0.27	0.48	0.92	0.13	0.77	1.48	1.24	100.99	131.05	14532.41	1203.38	0.11	0.27	1.92	15172.18	0.20	1.37
13/6	0.09	0.23	0.33	0.27	0.50	1.01	0.13	0.85	1.48	1.29	97.29	128.40	13106.62	1089.48	0.09	0.27	2.29	15035.75	0.21	1.62
13/7	0.08	0.23	0.33	0.27	0.48	1.01	0.13	0.83	1.48	1.33	99.64	130.47	14317.54	1186.91	0.09	0.27	2.56	15390.21	0.22	1.63
13/8	0.09	0.23	0.33	0.26	0.43	0.95	0.11	0.76	1.48	1.31	97.80	130.25	13726.66	1145.42	0.08	0.26	2.73	15195.35	0.23	1.80
13/9	0.09	0.23	0.33	0.26	0.42	0.91	0.11	0.72	1.48	1.30	99.19	132.53	14372.12	1185.18	0.08	0.25	2.80	15269.84	0.22	1.93
13/10	0.08	0.22	0.32	0.22	0.36	0.79	0.10	0.64	1.48	1.23	97.83	133.43	14329.02	1188.51	0.09	0.24	2.60	15289.29	0.23	1.81
13/11	0.09	0.22	0.32	0.21	0.35	0.78	0.10	0.61	1.48	1.20	100.11	135.13	14931.74	1222.90	0.08	0.24	2.71	15870.83	0.22	1.72
13/12	0.09	0.22	0.32	0.20	0.37	0.86	0.09	0.68	1.48	1.20	103.60	141.96	15655.23	1254.45	0.09	0.24	2.89	16095.77	0.27	1.85
14/1	0.09	0.22	0.32	0.21	0.36	0.87	0.09	0.68	1.48	1.24	103.88	141.51	15578.28	1275.17	0.07	0.24	2.85	16243.72	0.29	1.80
14/2	0.09	0.22	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.60	1.48	1.22	102.12	139.59	14617.57	1200.83	0.07	0.24	2.70	15958.44	0.29	1.66
14/3	0.08	0.21	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.62	1.48	1.20	102.36	141.52	14694.83	1190.57	0.08	0.23	2.72	16308.63	0.31	1.59
14/4	0.08	0.21	0.31	0.19	0.33	0.79	0.09	0.62	1.48	1.20	102.51	141.58	14475.33	1171.18	0.09	0.23	2.69	16399.50	0.33	1.53
14/5	0.09	0.21	0.30	0.19	0.32	0.77	0.09	0.60	1.48	1.20	101.84	139.85	14343.14	1174.62	0.09	0.23	2.55	16567.25	0.33	1.40
14/6	0.08	0.21	0.30	0.18	0.29	0.74	0.09	0.59	1.48	1.20	102.06	138.81	15131.80	1246.22	0.10	0.23	2.59	16843.75	0.24	1.35
14/7	0.08	0.21	0.30	0.17	0.26	0.68	0.07	0.55	1.48	1.17	101.75	137.74	15379.29	1275.72	0.09	0.23	2.53	16988.26	0.21	1.20
14/8	0.09	0.21	0.30	0.18	0.26	0.64	0.07	0.51	1.48	1.15	102.98	137.10	15358.70	1271.50	0.09	0.23	2.41	16775.15	0.19	1.02
14/9	0.09	0.21	0.30	0.17	0.27	0.66	0.07	0.54	1.48	1.15	107.39	138.46	15948.47	1313.29	0.09	0.23	2.52	17098.13	0.10	1.00
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.11	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.25	0.06	0.45
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	▲ 0.04	0.38	1.48	1.13	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.75	0.03	0.26
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.11	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68